

五島列島と軍艦島

4日間

出発日	旅行代金
2月5日(月)	295,000円
伊丹空港発着	285,000円
福岡空港発着・長崎空港解散の場合	255,000円
一人部屋追加代金	18,000円

◆ツアーのポイント◆

美しい海とキリスト教の歴史資産の五島列島をフライトと海上タクシー、高速船などを利用して効率的に巡ります。また、長崎港沖に浮かぶ半人工島・世界遺産の軍艦島をクルーズでご覧いただけます。

- ◎発着地：羽田空港発着。
- ◎添乗員：羽田空港集合～解散まで同行。
- ◎食事：朝食3回・昼食3回・夕食2回
- ◎最少催行人員：8名(最大12名)
- ◎利用予定バス会社：五島バス、ラッキーバス

HOTEL 利用ホテル

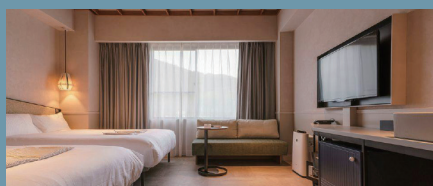
福江：GOTO TSUBAKI HOTEL

港から近く、客室は全室オーシャンビューで日本海の絶景を楽しめます。



上五島：ホテル・アオカ

2019年開業とまだ新しい、港の近くの隠れ家的な快適なホテルです。



長崎：カンデオホテルズ長崎新地中華街
観光に便利な新地中華街に位置し、最上階の露天風呂や機能美を凝縮した室内など、快適にお過ごしいただける都市型4つ星ホテルです。



イヤホンガイド・サービスを使用します。

ご旅行条件(要約) この書面は旅行業法第12条の4に定める取引条件説明書面および同法第12条の5に定める契約書面の一部となります。別途交付する旅行条件書(全文)をお受け取りの上、必ずご確認ください。

●この旅行は、株式会社旅のデザインルームが企画・実施する旅行であり、お客様は当社と募集型企画旅行契約を締結することになります。旅行契約の内容・条件は別途お渡しする旅行取引条件及び旅行条件(全文)、ご出発前にお渡しする最終日程表(確定書面)によります。

●旅行代金に含まれるもの：1.交通費(旅程に明示した利用交通機関)、2.宿泊

都市名	スケジュール
1 東京(大阪) 福江(五島列島)	<p>■午前(8:30)、羽田空港(伊丹空港)より、空路、長崎または福岡経由で五島列島の福江へ。</p> <p>■着後、下五島の観光。明治初期、五島カトリック復活の拠点となった堂崎天主堂◎、木造教会建築で知られる水ノ浦教会◎、鬼岳天文台○を訪れます。</p> <p>■また、五島で育った葡萄から作られた五島産のワイナリーで醸造所見学とテイスティングをお楽しみください。</p> <p>〈福江/GOTO TSUBAKI HOTEL泊〉 日 日 日</p>
2 福江(久賀島)(奈留島)上五島	<p>■朝食後、下五島の観光。日本の渚100選にも選ばれている高浜○、日本で初めて作られた「ルルドの洞窟」がある「井持浦(いもちうら)教会◎」、「大瀬崎灯台展望所○」にご案内します。</p> <p>■午後、チャータークルーズで上五島に向かいます。途中、久賀島の旧五輪教会堂◎(世界遺産)、奈留島の江上天主堂○(世界遺産)に立ち寄ります。また、海からでしか見ることができないキリシタン洞窟を海上から見学します。</p> <p>〈上五島/ホテル・アオカ泊〉 日 日 日</p>
3 上五島有川長崎	<p>■午前、昼食を挟んで新上五島の観光。煉瓦造りの大曾教会◎、欽川与助氏が独立して初めて自ら設計施工した冷水教会◎、矢野目公園展望所○、五島産の石で建てられた頭ヶ島天主堂◎(世界遺産)、鯨賓館ミュージアム◎、旧鯛ノ浦教会◎を訪ねます。</p> <p>■午後(16:20)、有川港から高速船で長崎へ戻ります(所要：約100分)。着後、ホテルへ。</p> <p>〈長崎/カンデオホテルズ長崎新地中華街泊〉 日 日 日</p>
4 (軍艦島)長崎長崎空港東京(大阪)	<p>■午前、世界遺産・軍艦島を巡るクルーズにご案内します。※軍艦島上陸は海況によります(上陸率60%、未上陸の場合3,000円返金いたします)。</p> <p>■午後、専用車で長崎空港へ(15:30着予定)。</p> <p>■16:25~16:55、長崎空港より羽田空港へ。</p> <p>■18:00~18:30、羽田空港着。着後、解散。</p> <p>日 日 日</p>

美しい海と歴史に彩られた五島列島



五島列島は、九州の最西端、長崎県の西方約100kmに位置しており、大小152の島々で構成されています。キリシタン弾圧に耐え抜いた信者が、信仰の自由の証として建てた数々の教会が残る「祈りの島」です。2018年には「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成要素として、世界遺産に登録されました。清らかな大地の光、澄みきった碧い海、壮大な大空に囲まれて、今なお荘厳な空気をまとっています。



世界文化遺産・軍艦島



通称「軍艦島」で知られる端島(はしま)は長崎港の南西18.5kmに浮かぶ炭鉱の島。幅160m長さ480mの面

積に最盛時は5000人以上もの人々が生活。昭和49年の閉山で無人島となりましたが、2009年から一般の方の上陸が可能となり、2015年7月世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産～製鉄・製鋼、造船、石炭産業～」として正式登録されました。